

予算審査特別委員会

第25号議案・平成27年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第36号議案・平成28年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月19日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・山谷清、副委員長・佐藤秀行)は、2月22日から2月23日までの間で現地調査及び審査を行いました。その結果、すべての議案について、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第6号)

総務費

〔質疑〕公共施設等総合管理計画策定業務委託料の減について伺う。

〔答弁〕この公共施設等総合管理計画については、地方公会計の整備に係る固定資産台帳を整備してから計画を策定したほうが、効率的かつ一体的にできるため、この2つの業務を平成27年度から平成28

年度までの債務負担行為により事業を進めてきた。この業務については、昨年10月に2力年度分の業務量をそれぞれ決定し入札を行った。その契約金額により、平成27年度分の減額補正と平成28年度に係る債務負担行為の変更をしたものである。

衛生費

〔質疑〕生ごみ資源化事業所(シリウス)の県返還金について、これは、シリウスの廃

止により、県を通して国に補助金を返還することだが、今後、このシリウスに関連して、同様の補助金返還が見込まれるのか伺う。

〔答弁〕この返還金については、精査により3千528万9千円となった。そのほかの返還金については発生しない。

商工費

〔質疑〕白石スキー場の工事請負費の減額について伺う。

〔答弁〕クワッドリフト修繕工事については、当初見込みの金額より、事業精査や入札により契約した金額が確定したことによる減額である。

〔質疑〕この修繕工事について、スキー場の利用者からリフトのスピードが遅くなったとの話がある。修繕工事において、当初の予算額と契約金額との差額が大きいが、設計変更などはなかったのか伺う。

〔答弁〕予定した工事はすべて完了している。確かに、リ

フトのスピードが遅くなったが、何よりも利用者の安全第一を考えての設計である。

土木費

〔質疑〕住宅費の子育て応援住宅について、住宅の鍵はすべて新しくするのか。また、新たな入居者となる場合はどうなるのか伺う。

〔答弁〕鍵については、すべて交換する予定である。また、新たな入居の際も交換する予定である。



特別委員会での現地調査(子育て応援住宅)

〔質疑〕白石沖西堀線街路事業工事費の減額について、国からの交付金が減額となったためとのことだが、今後の事業に影響は出ないのか伺う。

〔答弁〕今後の事業に対する影響はあるが、平成27年度は、用地買収にかかる交付金が減額となった分は、土地開発基金を活用して用地買収を行った。一旦、基金により市の用地として取得したが、平成28年度以降の交付金で、国から配分される額を基金に充当する予定である。

平成28年度は、配分された交付金を充当しながら、工事についても一部着手する計画で、現在、この事業については、平成29年度末の完了予定で進めている状況である。

〔質疑〕この工事の財源は社会資本整備総合交付金で、補助率は55%であるが、平成27年度の交付金が低かった理由等について伺う。

〔答弁〕平成27年度分の国への要望額に対し、実際の配分額は約4分の1であった。その理由は、現時点で復興